



## 平成22年度検診のお知らせ

日程や検査方法など、詳しくは別刷りの「平成22年度健康カレンダー」をご覧ください。

検診の受診券や検診案内は、新規対象者、前年度受診者等に郵送します。5月上旬までに郵送されない人で受診を希望する場合は、本庄市保健センターへお申し込みください。

なお、ここでは新たに実施する検診や変更点についてお知らせします。

### 【新たに実施する検診】

#### ◆胃ペプシノゲン検診

胃がんのかりやすさを血液検査で測定します。

期間 5月～平成23年3月

会場 指定医療機関(要予約)

対象 40歳以上の人

料金 350円

※前年度までの胃部レントゲン撮影による胃がん検診はなくなりしました。

#### ◆PSA(前立腺)検診

前立腺がんなどの可能性を血液検査で測定します。

期間 5月～平成23年3月

会場 指定医療機関(要予約)

対象 40歳以上の男性

料金 250円

### 【変更点】

#### ◆乳がん、子宮頸がん検診が

予約制に

予約受付期間 5月10日(月)～

6月10日(木)

※乳がん・子宮頸がん検診は2年に1度継続的に受診することが勧められているため、市の検診の履歴があり、前年度に受診していない人に対して受診券を発行します。

#### ◆大腸がん検診日を設定

大腸がん検診の申し込みは、他のがんの集団検診時に実施していましたが、新たに設けた大腸がん検診日でも申し込みができるようになりました。

### 予防接種を受けて

病気を防ぎましょう

①二種混合(ジフテリア・破傷風) 予防接種

小学6年生に、学校を通して予診票をお渡しています。体調の良い時に、早めに受けてください。(接種対象は13歳未満です。)

### 接種期間

平成23年3月31日(木)まで

②麻しん・風しん予防接種(MR)のお知らせ

麻しん(はしか)は、1回のみの予防接種では免疫力が低下するため2回接種になり

ました。麻しんが流行する6月までに受けましょう。

対象

○1期：生後12～24月未満

○2期：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ

○3期：平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ

○4期：平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ

### 接種期間

2・3・4期は平成23年3月31日(木)まで

### 予診票の配布方法

○2期・4期の人：郵送

○3期で市立中学校へ入学する人：入学式で配布

○それ以外の人：郵送

### ③乳幼児の予防接種

7歳半までに定期予防接種を済ませましょう。指定医療機関で受ける予防接種でも、各保健センターで予診票をお渡しできます。

検診・予防接種についてのお問い合わせは  
本庄市保健センターへ



## 医療メモ

本庄市児玉郡医師会広報部

### 血尿について

血尿とは、尿に血液(赤血球)が混入した状態です。肉眼で赤く見える血尿を肉眼的血尿、顕微鏡でないとわからない血尿を顕微鏡的血尿とい

います。健診の尿潜血(+)は顕微鏡的血尿です。血尿を伴う病気には次のものがあります。

①腎臓病(糸球体疾患)・腎臓にある尿を作る小さな組織が糸球体で、腎臓1つ当たりに100万個あります。この糸球体に障害が出るのが腎臓病で、進行すると腎不全になり、血液透析が必要となることもあります。代表的なのは、IgA腎症です。

②悪性腫瘍(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌、腎癌、前立腺癌)・膀胱癌は肉眼的血尿で発見されることが最も多く(80%)、早期であれば内視鏡で切除できますが、進行すると生命の危険があります。また、腎盂癌、尿管癌も同じく肉眼的血

尿で発見されることが多い癌です。(60%) 腎癌は進行するまで肉眼的血尿(38%)や自覚症状が見られず、最近では血尿の出る前に腹部超音波検査で発見されることが多くなりました。前立腺癌も進行しないと血尿は見られず、PSA検査で早期診断されることが多くなっています。

③尿路結石症・尿中の排泄物質が結晶となり、結晶が集まって結石となります。結石が尿管を下降するとき、急性の痛みを起しますが、生命に関わることはありません。

④膀胱炎・女性に多く、残尿感や排尿時の痛みを伴います。顕微鏡検査で簡単に診断でき、抗生剤の服用で簡単に治ります。

⑤その他・遊走腎は腎臓が動くことで血尿が生じますが、危険はありません。腎臓の血管異常(動脈奇形)ではとくに大出血を起すことがあります。また、腎臓の外傷でも血尿が見られます。

血尿のすべてが危険な病気ではありませんが、悪性腫瘍や腎臓病は生命に関わるため、尿が赤いときや健診で潜血陽性のときは、できるだけ早く医療機関を受診してください。